

定員に達しました
ので締切りました

建築物の省エネ性能に関する 評価・表示シンポジウム

主催：一般社団法人 住宅性能評価・表示協会（評価協会）

民生部門のCO₂排出量は、我が国全体の排出量の約 3 分の 1 を占めることに加え、1990 年から 2011 年までに約 4 割増加している状況にある。そのため、増加の著しい民生部門のエネルギー消費を削減し、CO₂ 排出量を削減していくことは重要な政策課題となっている。

このような状況を踏まえ、国土交通省が有識者による検討を行い作成した「[非住宅建築物に係る省エネルギー性能の表示のための評価ガイドライン（2013.10）](#)」の制定を受け、一般社団法人住宅性能評価・表示協会では、[建築物の省エネ性能に関する評価・表示制度を今春より新たに創設](#)することとした。

本シンポジウムでは、住宅性能表示制度の見直しやCASBEE不動産マーケット普及版の開発など、各評価制度の最新の動向と併せ、新たな建築物のラベリング制度の紹介を行うものである。

開催日時	
平成 26 年 2 月 28 日（金） 13:30 ~ 16:00	
会場	定員
建築会館ホール（地図は次ページにあります）	180 人
東京都港区芝 5-26-20 一般社団法人日本建築学会	

プログラム ※予告なく変更する場合があります。	
13:30~13:40	ご挨拶 国土交通省住宅局住宅生産課 課長 伊藤 明子氏
13:40~14:00	省エネ基準の改正とラベリング制度の展開について 国土交通省住宅局住宅生産課 住宅ストック活用・リフォーム推進官 松野 秀生氏
14:00~14:20	CASBEE不動産の展開について 慶応義塾大学 教授 伊香賀 俊治氏
14:20~14:40	新たな建築物ラベリング制度の紹介 一般社団法人 住宅性能評価・表示協会 事務局
	～ 休憩 ～
14:50~15:10	CASBEE不動産の評価事例 一般社団法人日本ビルディング協会連合会 事務局次長 金子 衛氏
15:10~15:30	建築物ラベリング制度における評価手法の概要 独立行政法人 建築研究所 研究員 宮田 征門氏
15:30~15:50	建築物ラベリング制度の評価事例 株式会社日本設計 執行役員 環境・設備設計群長 柳井 崇氏
15:50~16:00	(仮) 住宅の一次エネルギー消費量表示 一般社団法人住宅生産団体連合会 住宅性能向上委員会SWG1リーダー 西澤 哲郎氏

定員に達しました
ので締切りました

参加費

無料

定員を超える場合は、先着順とさせていただきます

【申込方法】

WEBまたはFAXによるお申込みになります。必要事項を入力し、お申込み・問合せ先へメールまたはFAXをお送りください。

①WEBによる参加申込みはこちら

申込みページへ

②FAXによる参加申込みはこちら

申込み用紙

FAX：03-5229-7443

<宛先>

一般社団法人住宅性能評価・表示協会
建築物の省エネ性能に関する評価・表示シンポジウム
シンポジウム事務局 宛て

○申し込み期限

平成26年2月21日（金）

※受付期限前であっても、定員になり次第、締め切らせていただきます。

■シンポジウムに関する問合せ先

一般社団法人 住宅性能評価・表示協会 シンポジウム事務局

ホームページ <http://www.hyoukakyokai.or.jp/>

TEL:03-5229-7440（平日9:30~17:30）

